

校名「八戸学院ひばり野西」に

旧五戸高跡地に移転する野辺地西高の新校名が29日、「八戸学院ひばり野西」と公表された。五戸町内では「いい名前」「五戸の学校」という感じがいい」など好意的な声が続いた。

【1ページに本記】

町内進学、選択肢に

五戸高同窓会長の三浦武志さん(67)は、新校名を聞いて「いい名前だね」と喜んだ。五戸は特色を表すサッカー、桜肉(馬肉)、坂の頭文字を取って「3S」とも呼ばれるが、近年とした学校となることにつ

野辺地西高サッカー部・和田さん(註)

サッカー、祭りにぎわい期待

八戸学院野辺地西高サッカー部には五戸町出身の部員が2人所属している。その一人の和田晃雅さん(16)は、6月の青森県高校総体サッカー男子決勝でベンチ入りし、絶対王者・青森山田高を下した歓喜の瞬間をピッチの上で迎えた。今月開かれた五戸まつりでは、過密な練習スケジュールの合間を縫って参加するなど、お祭り好きな

稲村颯真さん(14)は町立五戸中2年。和田さん(16)は同1年。和田さんは、町内のクラブチーム「五戸すずかけSC U-15」でプレーしている。

稲村さんは、町内の中学生を対象とした新校名のアンケートで「八戸学院ひばり野西」を選んだという。進学後もサッカーを続けた

と考えて「選択肢の一つとして考えたい」と話した。「五戸の学校」という感じがいいと話した和田さんは、保育園の時に県立五戸高の校庭に出かけ、よく遊んでいたという。「あの場所が、またにぎやかになってくれるとうれしい」と開校を待ち望んだ。

(田村純也)

人が多い。すごくありがたい。町の皆さんの期待に応えてくれると思うので、新しい高校を応援してほしい。

サッカー部員の立場から見て、五戸に移転するメリットは、ヴァンラーレ八戸の存在は大きい。サッカー部で観戦に行く機会はあるが、より身近なところで技術を吸収できる。

「学校が移転して、五戸町はどのように変わっていくか。五戸まつりが好きで毎年参加している。今年は小学生が多くてびっくりしたが、高校が移転してこのようににぎわいが毎日続いている。率直にうれしい一言だ。」

「町内では「サッカーの町の復活を期待している」

五戸まつりに参加する和田晃雅さん(中央)。下大町自治会山車組で大太鼓を担当している。9月7日、五戸町

(聞き手・田村純也)

「いい名前」「五戸の学校」



「八戸学院ひばり野西高」として開校する計画の旧五戸高校舎＝28日、五戸町



五戸まつりに参加する和田晃雅さん(中央)。下大町自治会山車組で大太鼓を担当している。9月7日、五戸町